

## 臨床検査医学

### 【原著論文】

- 1) 鷹箸孝一, 田中一世, 渡邊和枝, 池田眞由美, 堀内裕次, 及川信次, 菱沼昭, 家入蒼生夫: BM6010を用いたレムナント様リポ蛋白コレステロール測定試薬の評価. 臨床検査栃木 4(2): 41-45, 2009.
- 2) 増渕純一, 白石一正, 平野啓子, 大島春美, 池田眞由美, 堀内裕次, 及川信次, 家入蒼生夫: タクロリムス血中濃度測定試薬の比較評価. 臨床検査栃木 4(2): 46-50, 2009.
- 3) 鈴木弘倫, 岡本友紀, 樽川友美, 柴田敏弘, 磯利佐子, 山本芳尚, 大内友二, 及川信次, 奥住捷子, 吉田敦, 菱沼昭, 家入蒼生夫: 脳膿瘍から *Nocardia farcinica* が分離された1症例. 臨床検査栃木 4(2): 18-21, 2009.
- 4) 鈴木弘倫, 吉田敦, 樽川友美, 岡本友紀, 柴田敏弘, 磯利佐子, 山本芳尚, 大内友二, 奥住捷子, 小池宰子, 菱沼昭, 家入蒼生夫: 同定が困難ないし不確実であった血液培養由来菌の 16SrRNAを用いた再同定. 日本臨床腸内微生物学会誌 11(1): 47-50, 2009.

### 【症例報告】

- 1) 鈴木弘倫, 岡本友紀, 樽川友美, 柴田敏弘, 磯利佐子, 山本芳尚, 大内友二, 及川信次, 奥住捷子, 吉田敦, 菱沼昭, 家入蒼生夫: 脳膿瘍から *Nocardia farcinica* が分離された1症例. 臨床検査栃木 4(2): 18-21, 2009.
- 2) Takashima R, Odaka M, Watanabe Y, Hirat K, Yoshida A: A case of basilar artery occlusion caused by mucormycotic embolism in the course of myelodysplastic syndrome. Brain Nerve 61(9): 1079-1082, 2009.

### 【総説等】

- 1) 鈴木弘倫, 岡本友紀, 樽川友美, 柴田敏弘, 磯利佐子, 山本芳尚, 大内友二, 及川信次, 奥住捷子, 吉田敦, 菱沼昭, 家入蒼生夫: 膿瘍から *Nocardia farcinica* が分離された1症例. 臨床検査栃木 4(2): 18-21, 2009.
- 2) 吉田敦: *Streptococcus suis*, *Streptococcus dysgalactiae*. 臨床と微生物 36(2): 99-102, 2009.
- 3) 家入蒼生夫, 堀内裕次: 技術講座 ホルモンの測定シリーズ・1 下垂体系: 1 成長ホルモン(GH), プロラクチン(PRL). 検査と技術 37(4): 331-337, 2009.
- 4) 菱沼昭: 先天性甲状腺疾患 In: 甲状腺疾患診療マニュアル(田上哲也, 西川光重, 伊藤公一, 成瀬光栄 編). 診断と治療社: 82-83, 2009.
- 5) 菱沼昭: 小児 Basedow 病 In: 甲状腺疾患診療マニュアル(田上哲也, 西川光重, 伊藤公一, 成瀬光栄 編). 診断と治療社: 84-85, 2009.
- 6) 中尾美佐子, 堀内裕次, 屋代剛典, 及川信次, 菱沼昭, 家入蒼生夫: 血中シクロスポリン測定試薬アーキテクト®・シクロスポリンの評価. 医学と薬学 61(5): 913-920, 2009.
- 7) 吉田敦: 新型インフル対策に日米差 医療関係者の個々の努力に依存しない対策を. 日経メディカル 38(7): 36-37, 2009.
- 8) 吉田敦: 感染性腸炎, 食中毒への適切なアプローチ —診断・治療・感染対策と検査の活かし方—. 微研ジャーナル友 32(3): 3-8, 2009.
- 9) 吉田敦: 新型インフルエンザ対策 —日米の差とその教訓—. 微研ジャーナル友 32(3): 14-17,

2009.

- 10) 吉田 敦：感染制御チーム(ICT) ③ ICTラウンド a. ICTラウンドの実際. 臨床病理刊行会 144: 65-67, 2009.
- 11) 菱沼 昭, 家入蒼生夫：サイログロブリン遺伝子異常 -細胞内輸送異常と甲状腺癌- In: 内分泌病理学 最近の進歩2008 (上條桂一 編. ホルモンと臨床 : 73-79, 2009.
- 12) 吉田 敦：アウトブレイク対応における検査室の役割. 臨床病理レビュー 144(8): 73-76, 2009.
- 13) 吉田 敦：有効な, そして実地的な飛沫感染対策とは? . 微研ジャーナル友 32(4), 2009.
- 14) 池田眞由美, 鷹箸孝一, 瀬出井美智子, 伊東京子, 新保敬, 及川信次, 宮本和典, 菱沼昭, 家入蒼生夫：全自動血液凝固測定装置CS-2100iの評価. Sysmex Journal 32: 97-106, 2009.

## 【学会・研究会発表】

- 1) 堀内裕次, 平野啓子, 田中一世, 田島勇人, 小川原正明, 及川信次, 家入蒼生夫：甲状腺ペルオキシダーゼ抗体測定キットAccess®TPO Antibodyの評価. 第47回免疫アッセイ研究会, 東京都, 2009-1-10.
- 2) 堀内裕次, 平野啓子, 渡邊和枝, 屋代剛典, 小川原正明, 及川信次, 家入蒼生夫：甲状腺ペルオキシダーゼ抗体測定キットAccess®TPO Antibodyの評価. 第47回免疫アッセイ研究会, 東京都, 2009-1-10.
- 3) 中尾美佐子, 増渕純一, 白石一正, 平野啓子, 小川原正明, 堀内裕次, 及川信次, 家入蒼生夫：血中シクロスポリン測定試薬アーキテクト®・シクロスポリンの評価. 第47回免疫アッセイ研究会, 東京都, 2009-1-10.
- 4) 池田眞由美, 鷹箸孝一, 伊東京子, 瀬出井美智子, 新保敬, 堀内裕次, 及川信次, 菱沼昭, 家入蒼生夫：DIC基礎疾患とFDP / Dダイマー比の解析. 第47回免疫アッセイ研究会, 東京都, 2009-1-10.
- 5) 樽川友美, 鈴木弘倫, 岡本友紀, 山本芳尚, 三澤慶樹, 奥住捷子, 吉田 敦, 小池幸子, 菱沼 昭, 家入蒼生夫：血液培養から検出された*S. milleri* groupの薬剤感受性成績とマクロライド耐性遺伝子および臨床背景の検討. 第20回日本臨床微生物学会総会, 仙台, 2009-1-31.
- 6) 本芳尚, 奥住捷子, 吉田 敦, 家入蒼生夫：抗菌薬の適正使用によって呼吸器由来緑膿菌の薬剤感受性成績がこれだけ変化した. 第20回日本臨床微生物学会総会, 仙台, 2009-1-31.
- 7) 柴崎智子, 高橋宏朗, 川上有美, 篠原たけ子, 亀田宏美, 遠藤洋美, 篠原未来, 香取三奈, 平野正江, 大関京子, 奥住捷子, 吉田 敦, 藤澤隆一, 増田道明：手袋着用前後の手指消毒の効果に関する講習会の試み. 第24回日本環境感染学会総会, 東京都, 2009-2-27.
- 8) 蘇原由貴, 鈴木理穂, 星野浩一, 萱沼保伯, 山本芳尚, 奥住捷子, 吉田 敦, 家入蒼生夫, 越川千秋：緑膿菌のアンチバイオグラムと抗菌薬使用量との相関性と有用性の検討. 第24回日本環境感染学会総会, 東京都, 2009-2-28.
- 9) 星野浩一, 蘇原由貴, 五月女聡良, 萱沼保伯, 奥住捷子, 吉田 敦, 越川千秋：当院における外科系・内科系別抗MRSA薬の使用状況とPK/PD解析. 第25回日本環境感染学会総会, 東京都, 2009-2-28.
- 10) 野口義彦, 吉村 弘, 菱沼 昭, 清水妙子, 國井 葉, 佐藤尚太郎, 安田重光, 向笠浩司, 数川逸郎, 伊藤国彦, 伊藤公一：先天性非自己免疫性甲状腺機能亢進症の一例. 第82回日本内分泌学会学術総会, 前橋市, 2009-4-23.
- 11) 武内陽子, 菱沼 昭, 今井常夫, 梶村益久, 林 良敬, 村田善晴：正常アリの甲状腺発現抑制によりクレチン症を発症したNIS遺伝子変異T354Pヘテロ接合体の一例. 第83回日本内分泌学会学術総会, 前橋市, 2009-4-23.
- 12) 山本芳尚, 岡本友紀, 樽川友美, 奥住捷子, 吉田 敦, 菱沼 昭, 家入蒼生夫：骨髄異形成症候群患者に発症した*Fusarium solani*による敗血症の一例. 第83回日本感染症学会総会, 東京都,

2009-4-23.

- 13) 樽川友美, 鈴木弘倫, 岡本友紀, 山本芳尚, 奥住捷子, 吉田 敦, 菱沼 昭, 家入蒼生夫: *S. milleri* group による敗血症例の臨床的解析. 第83回日本感染症学会総会, 東京都, 2009-4-23.
- 14) 山本芳尚, 岡本友紀, 樽川友美, 奥住捷子, 吉田 敦, 菱沼 昭, 家入蒼生夫: 骨髄異形成症候群患者に発症した *Fusarium solani* による敗血症の一例. 第83回日本感染症学会総会, 東京都, 2009-4-23.
- 15) 菊池亜希子, 吉田 敦, 奥住捷子, 金子 昇, 家入蒼生夫: *Campylobacter fetus* による感染性心内膜炎の1例. 第83回日本感染症学会総会, 東京都, 2009-4-23.
- 16) 吉田 敦: なぜ感染症を学ぶのか —ドイツ・イギリス・アメリカでの経験を踏まえて—. 第83回日本感染症学会総会シンポジウム, 東京都, 2009-4-24.
- 17) 深田修司, 菱沼 昭, 廣川 満, 高村勇貴, 窪田純久, 家入蒼生夫, 隈 寛二, 宮内 昭: 特異なサイログロブリン遺伝子変異発現が認められた濾胞腺腫の一例. 第82回日本内分泌学会学術総会, 前橋市, 2009-4-24.
- 18) Tarukawa T, Yoshida A, Yoshida H, Okuzumi K, Okamoto Y, Suzuki H, Koike S, Yamamoto Y, Hishinuma A, Ieiri T: *Streptococcus milleri* group sepsis: Abdominal infections and macrolide resistance. ECCMID, Helsinki, Finland, 2009-5-17.
- 19) 吉田 敦: 内科領域で経験するβ溶血性レンサ球菌感染症とその治療法. 第58回日本感染症学会東日本地方会総会, 第56回日本化学療法学会東日本支部総会, 共催シンポジウム (厚労科研報告), 東京都, 2009-10-30.
- 20) Hishinuma, A., Fukata, S., Ohmika, N., Hayama, N., Namatame, T., and Ieiri, T: Novel compound heterozygous occurrence of single nucleotide deletion 7890delT and genomic microdeletion encompassing exon 28 and 29 of thyroglobulin gene causes multinodular goiter. 9th Asia and Oceania Thyroid Association Congress (Nagoya), 名古屋市, 2009-11-2.
- 21) 深田修司, 菱沼 昭, 家入蒼生夫, 宮内 昭, 田尻淳一: TPO 遺伝子の異常対立遺伝子のみでの発現を呈した先天性甲状腺機能低下症の一例. 第52回日本甲状腺学会, 名古屋市, 2009-11-5.
- 22) 増渕純一, 白石一正, 鷹箸孝一, 池田眞由美, 堀内裕次, 及川信次, 菱沼 昭, 家入蒼生夫: ミトコンドリア由来CKを阻害するCK-MB測定試薬2法の評価. イムノアッセイ研究会, 東京都, 2009-12-5.